

中国の対外支援戦略②

中国の実質GDPは、2007年にドイツを抜き、世界第3位の経済大国となった後、2010年には日本を抜いて、世界第2位となった。一方で、一人当たりのGDPは、日本の10分の1程度と、依然として低く、13億以上の人口を抱える中国にとってGDPの増大は現在も重要な政策課題であり、政治的安定を維持するためにも高い経済成長を維持する必要がある。中国の経済発展と共に、近年、中国の対外支援に注目が集まっているが、中国の対外支援は、どのような意味を持っているのか。本稿では、前回の「中国の対外支援戦略①」の続きとして、輸送インフラ整備に関する事例分析を基にした中国の対外支援戦略を考察する。

1. 中国の対外援助

中国の対外援助は、その対外援助白書（White Paper: China's Foreign Aid）によると、2009年では2,560億元（390億米ドル）に達している。その内訳としては、無償援助が1,060億元、無利子借款が760億元であり、供与先は161カ国、30国際機関に亘る。また、中国の対外援助は外交戦略の一手段として位置づけられ、天然資源開発、特に石油、天然ガスなどの資源確保と密接に結びついている。中国経済を持続的に牽引する上では、資源調達には欠かせない要素であり、特に海外の資源を調達するためには、海外からの輸送ルート、輸送能力が重要となる。そのため、中国は途上国における資源開発や資源確保の見返りとして、輸送インフラ整備や農業・工業開発を援助として積極的に行っている。

2. 中国の輸送インフラ整備

一次産品、地下資源、エネルギー資源などの重量のあるものを国内輸送する場合、陸路輸送の中でも鉄道輸送は極めて重要な役割を果たす。現在の中国の輸送インフラ投資で最も大きなウェイトを占めるのは鉄道整備であり、その総額は5兆元にも上る。この総額は道路投資総額（4兆元）を大きく上回り、幹線整備においては2008年から2020年にかけて総延長4万キロの建設計画が発表されている。

中国の国内輸送インフラ（鉄道）開発、及びその延長としての対外支援による国際輸送開発戦略として、西安—重慶—成都—新疆ウイグルまで伸びる国内東西ルート、中国—EU間を結ぶ、新疆ウイグル自治区ウルムチ市や中央アジアを経由しドイツに至る国際東西ルート、黒竜江省からロシアのシベリア鉄道を經由し欧

州へ向かう国際東西ルート、また重慶から雲南省昆明を通過し、ベトナム国境のラオカイを南北に縦断する国内南北ルート、雲南省昆明からベトナム、カンボジア、タイ、マレーシアを経てシンガポールに至るルートとミャンマーのヤンゴン、更にバングラディッシュのダッカまで抜ける国際南北ルート等の開発が計画されている。さらに、最近ではブラジルの高速鉄道プロジェクトへの入札にも加わるとともに、高速道路技術の特許申請（米国、日本、欧州等）の準備等、国外の高速鉄道市場への参入が進められている⁽ⁱ⁾。

今後、対外的な経済協力の推進により、ユーラシア大陸やインドシナ半島における資源開発、内陸開発、そして中国国内の内陸インフラの拡充が進むにつれ、資源輸送の主軸がこれまでの海上輸送から、陸路輸送、特に鉄道輸送へ転換される可能性が高まっている。

3. 結び

中国の国内産業政策と密接にリンクした外国（途上国）での資源確保、及び輸送ルート開発（道路、港湾、鉄道など）は中国国内の産業部門の供給体制を強化するとともに、外国（途上国）への対外援助の拡大は、輸出品のマーケット確保にも大きく貢献する。途上国からの地下資源・一次産品の輸入、中国国内での生産・加工、途上国への製品輸出という一連のバリューチェーンは、帝国主義時代における欧米列強の典型的な植民地経営と同様のパターンである。このパターンの経済開発は第二次世界大戦以前の帝国主義時代には、強大な軍事力を背景として行われていた。しかし、現在の中国の対外支援は膨大な外貨準備高⁽ⁱⁱ⁾に基づく国際金融力を背景としたものであり、その対外援助は国内の政治的・経済的な安定性を保持するための国益追求の戦略の一手段と言える。

一方、我が国のODAを主軸とする対外支援は、戦後賠償として開始された経緯から、現在も途上国からの要請に基づいた支援であり、国益に即したものでないとの指摘もある。GDP、外貨準備の規模、また、政府の対外支援で中国が日本を凌駕する中、我が国も国益に資する対外支援に向けた本格的な検討が求められているのではないだろうか。（文責：IDCJ研究員 馬場勇一）

(i) 2011年7月23日、中国高速鉄道の追突・脱線事故が浙江省で発生した。これらは中国の高速鉄道計画に今後、マイナスの影響を与える可能性があり、今後の動向を注視していく必要がある。

(ii) 2010年の中国の外貨準備高は全世界の30%を占め世界一である。